

令和5年度「器楽一般」シラバス

教科名:芸術科	科目名:器楽一般	単位数:2単位
対象:3年1・2・3・4組(選択)	教科書:つどい 他	

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたり音楽に親しみ、音楽を通じて自己の人生を豊かにする力を育てる。 ・音楽大学、幼児教育科、その他音楽の仕事に携わる仕事など、卒業後の進路に応じて、自己の音楽的専門性を高める。

2. 評価の観点

知識・技能	思考力、判断力、表現力	主体的に学習に取り組む態度
創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3. 年間学習計画

学期	月	時間	題材	教材名	学習活動	評価方法
1 学期	4	26	歌唱「日本の歌を歌おう」	「初恋」「からたちの花」「かんぴょう」	日本の芸術歌曲に触れ、その美しさを感じ取り、具体的な表現の方法目標を持って歌唱する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	5		器楽「ギター応用」	「I love you」「カントリーロード」	ギターのアルペッジオ奏法を理解し、挑戦する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	6		器楽「キーボード」	楽典事項の復習、「コールユーブンゲン」「カイト」	標準的な楽典事項を理解する。楽典事項に注意しながら演奏する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	7		歌唱・鑑賞「詩と音楽の融合～ロマン派のリート」	「水の上で歌う」「音楽に寄す」「献呈」	ドイツ・リートにおいて深いつながりをもつ詩と音楽の関係性を理解しながら鑑賞する。詩と音楽を関連づけて表現意図をもって歌唱する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
2 学期	9	26	郷土の音楽「三線」「箏」	「ひやみかち節」「瀧落菅攪」	三線の奏法を確認し、速弾きに挑戦する。箏の奏法を理解する。	観察・ワークシート・実技テスト・振り返り
	10 11		課題研究、発表	声楽曲、器楽曲、三線・箏曲、ピアノ曲等	各自題材を設定し、楽曲の内容や成り立ちを研究する。表現意図について考え、練習を通して技術を高め、発表する。	観察・ワークシート・発表・振り返り
	12		器楽「アンサンブルを楽しもう」	「イエローサブマリン」	ギター、キーボード、ドラム等を組み合わせたアンサンブルに挑戦し、互いの音の関連を楽しむ。	観察・ワークシート・振り返り
3 学期	1	18	鑑賞「舞台芸術の奥行き」	オペラ「タンホイザー」歌舞伎「青砥稿花紅彩画」他	舞台芸術の成り立ち、物語と音楽の相関性、技術的背景や関わる人々等について理解しながら鑑賞する。	観察・ワークシート・筆記テスト・振り返り
	2 3		1年間のまとめ、歌唱	ギター、キーボード、三線、歌唱等	楽器演奏や歌唱を通してこれまで学んだことを振り返り、これからの人生で音楽に親しむ機会や方法、態度等について確認する。	観察・ワークシート・振り返り